

平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 いであ株式会社

コード番号 9768 URL <http://ideacon.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 田畑 日出男

問合せ先責任者 (役職名) 内部統制本部長 (氏名) 斎藤 博幸

TEL 03-4544-7600

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	11,094	6.4	1,937	21.6	1,932	21.3	1,274	△3.0
24年12月期第2四半期	10,428	14.7	1,592	165.5	1,593	168.8	1,314	308.2

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 1,384百万円 (3.3%) 24年12月期第2四半期 1,341百万円 (348.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	178.54	—
24年12月期第2四半期	184.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第2四半期	19,856	11,689	58.9	1,637.12
24年12月期	20,772	10,393	50.0	1,455.68

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 11,689百万円 24年12月期 10,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	—	—	12.50	12.50
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,300	5.8	900	12.8	900	9.3	500	△34.2	70.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期2Q	7,499,025 株	24年12月期	7,499,025 株
25年12月期2Q	358,832 株	24年12月期	358,824 株
25年12月期2Q	7,140,194 株	24年12月期2Q	7,140,201 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
(4) 追加情報.....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(5) セグメント情報等.....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10
(7) 重要な後発事象.....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の持ち直しや政府の経済対策、金融政策などの効果を背景に、企業収益の改善が雇用・所得環境の改善や投資の増加につながり、回復基調で推移したものの、長引く欧州債務問題が世界経済へ及ぼす影響などが懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く市場環境は、価格競争の激化、契約形態の変化に伴う厳しい受注競争等が継続している中、官公庁からの受注依存度が高い当社グループとしては、依然として厳しい受注環境が続いているものの、政府の大規模な平成24年度補正予算と平成25年度予算において、当社業務内容と関連がある復旧・復興関連事業や防災・減災、社会基盤（道路や橋、堤防等）の老朽化対策等に重点配分されております。

このような状況の中、安定的な経営を行うためには、組織の一体化・効率化等によりガバナンスを一層強化するとともに、優秀な人材の養成・確保と技術の総合化・多様化・差別化を推進し、さらに社会ニーズや社会環境の変化にマッチした組織構造・事業構造・事業領域への転換を図ることにより、当社独自のビジネスモデルを構築することが必要と考えます。

当社グループは、平成25年から平成27年までの新中期経営計画において、「イノベーションによる技術革新・市場創生と経営の効率化」を掲げ、特に①これまでの技術開発の成果をもとにした市場創生・新規事業の展開、②グローバル人材の育成、③コーポレートガバナンスの強化の3つの重要な経営課題に取り組むことにより、強い経営基盤の構築と安定的な成長を目指しております。

当第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日～平成25年6月30日)における連結業績は、受注高87億4千万円(前年同四半期比1.0%減)、売上高は110億9千4百万円(前年同四半期比6.4%増)となり、通期予想売上高153億円の72.5%を計上いたしました。これは当社グループの売上高が第2四半期連結会計期間に集中する季節変動特性を有しているためであります。

また、売上高の増加、工程管理の徹底、作業効率の向上による外注費、販売費及び一般管理費の削減により、当第2四半期連結累計期間の営業利益は19億3千7百万円(前年同四半期比21.6%増)、経常利益は19億3千2百万円(前年同四半期比21.3%増)となりましたが、法人税等の増加により、四半期純利益は12億7千4百万円(前年同四半期比3.0%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。(セグメント間取引を含んでおります。)

(環境コンサルタント事業)

同事業は、当社及び連結子会社3社(新日本環境調査(株)、沖縄環境調査(株)、東和環境科学(株))が行っている事業であり、環境アセスメント及び環境計画部門、環境生物部門、数値解析部門、調査部門、環境化学部門、気象・沿岸部門の6部門より構成されております。

売上高は72億2千8百万円(前年同四半期比3.9%増)、セグメント利益は9億5千5百万円(前年同四半期比4.1%減)となりました。

(建設コンサルタント事業)

同事業は、河川部門、水工部門、道路部門、橋梁部門の4部門より構成されています。

売上高は35億2千5百万円(前年同四半期比10.3%増)、セグメント利益は8億8千8百万円(前年同四半期比65.6%増)となりました。

(情報システム事業)

同事業は、システム開発及び画像解析等の事業を行っております。

売上高は2億7千9百万円（前年同四半期比 20.2%増）、セグメント利益は3千7百万円（前年同四半期比 117.5%増）となりました。

(不動産事業)

同事業は、赤坂のオフィスビル、旧本社ビル等の不動産賃貸事業を行っております。

売上高は9千3百万円（前年同四半期比 10.3%増）、セグメント利益は5千5百万円（前年同四半期比 33.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比べ9億1千6百万円減少し、198億5千6百万円となりました。流動資産におきましては、主に現金及び預金の増加17億2千万円、受取手形及び営業未収入金の減少5億3千4百万円、仕掛品の減少22億1千4百万円により、前連結会計年度末に比べ10億1百万円減少し、59億7千4百万円となりました。固定資産におきましては、主に建物の減少1億1千1百万円、投資有価証券の増加1億2千7百万円により、前連結会計年度末に比べ8千5百万円増加し、138億8千1百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比べ22億1千1百万円減少し、81億6千6百万円となりました。流動負債におきましては、主に支払手形及び営業未払金の減少2億1千3百万円、短期借入金の減少29億円、未払法人税等の増加5億5千4百万円、流動負債その他の増加7億2千6百万円により、前連結会計年度末に比べ18億円減少し44億1千9百万円となりました。固定負債におきましては、主に社債の減少2億3百万円、長期借入金の減少1億1千5百万円、退職給付引当金の減少8千7百万円により、前連結会計年度末に比べ4億1千万円減少し、37億4千7百万円となりました。

(純資産)

純資産におきましては、主に利益剰余金の増加11億8千5百万円により、前連結会計年度末に比べ12億9千5百万円増加し、116億8千9百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ17億2千万円増加(前年同四半期は16億7千7百万円の増加)し、25億3千4百万円(前年同四半期は23億3千8百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、得られた資金は53億1千1百万円（前年同四半期は51億4千8百万円の収入）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益19億3千2百万円、非資金支出費用である減価償却費2億5千8百万円、売上債権の減少額5億3千4百万円、たな卸資産の減少額22億1千4百万円、仕入債務の減少額2億1千3百万円、前受金の増加額7億3百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は2億9千4百万円（前年同四半期は1億9千3百万円の支出）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出1億7千8百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は32億9千7百万円(前年同四半期は32億7千7百万円の支出)となりました。これは主として、短期借入金の純減少額29億円、長期借入金の返済による支出1億1千5百万円、社債の償還による支出1億8千9百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、前回(平成25年2月12日発表「平成24年12月期決算短信」に記載しております。)の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	813,069	2,533,301
受取手形及び営業未収入金	1,307,370	772,731
有価証券	723	1,194
仕掛品	4,538,366	2,323,913
繰延税金資産	157,450	165,723
その他	158,977	177,824
貸倒引当金	△296	△169
流動資産合計	6,975,661	5,974,519
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,700,712	4,589,161
土地	6,916,452	6,916,452
その他(純額)	542,704	553,618
有形固定資産合計	12,159,869	12,059,232
無形固定資産		
投資その他の資産	103,103	97,697
投資有価証券	613,458	740,689
繰延税金資産	192,574	142,120
その他	748,587	863,148
貸倒引当金	△21,034	△21,234
投資その他の資産合計	1,533,584	1,724,723
固定資産合計	13,796,557	13,881,653
資産合計	20,772,219	19,856,173
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	566,653	353,378
短期借入金	3,269,509	369,509
1年内償還予定の社債	378,000	392,000
未払法人税等	109,442	664,180
賞与引当金	72,137	88,980
受注損失引当金	27,526	28,286
その他	1,796,840	2,522,991
流動負債合計	6,220,109	4,419,327
固定負債		
社債	683,000	480,000
長期借入金	462,459	346,555
退職給付引当金	2,643,417	2,555,754
役員退職慰労引当金	244,102	206,898
その他	125,299	158,282
固定負債合計	4,158,278	3,747,490

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債合計	10,378,388	8,166,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,173,236	3,173,236
資本剰余金	3,352,573	3,352,573
利益剰余金	3,966,761	5,152,310
自己株式	△138,951	△138,956
株主資本合計	10,353,620	11,539,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,980	139,957
為替換算調整勘定	2,230	10,233
その他の包括利益累計額合計	40,211	150,191
純資産合計	10,393,831	11,689,355
負債純資産合計	20,772,219	19,856,173

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	10,428,923	11,094,615
売上原価	7,212,234	7,555,834
売上総利益	3,216,688	3,538,781
販売費及び一般管理費	1,623,784	1,601,206
営業利益	1,592,903	1,937,575
営業外収益		
受取利息	1,277	1,532
受取配当金	4,000	2,798
受取保険金及び配当金	8,559	2,517
保険解約返戻金	6,413	5,621
その他	11,574	13,173
営業外収益合計	31,824	25,643
営業外費用		
支払利息	25,023	20,482
持分法による投資損失	1,296	3,843
その他	5,060	6,032
営業外費用合計	31,379	30,357
経常利益	1,593,348	1,932,861
特別損失		
貸倒引当金繰入額	3,700	—
投資有価証券売却損	1,621	—
特別損失合計	5,321	—
税金等調整前四半期純利益	1,588,026	1,932,861
法人税、住民税及び事業税	281,216	636,247
法人税等調整額	△8,062	21,811
法人税等合計	273,153	658,059
少数株主損益調整前四半期純利益	1,314,872	1,274,801
四半期純利益	1,314,872	1,274,801

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,314,872	1,274,801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,186	101,977
為替換算調整勘定	1,052	8,003
その他の包括利益合計	26,238	109,980
四半期包括利益	1,341,111	1,384,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,341,111	1,384,781
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,588,026	1,932,861
減価償却費	276,993	258,483
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△83,465	△124,867
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,844	16,843
受取利息及び受取配当金	△5,277	△4,330
支払利息	25,023	20,482
投資有価証券売却損益(△は益)	1,621	—
売上債権の増減額(△は増加)	932,358	534,639
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,544,800	2,214,452
仕入債務の増減額(△は減少)	△160,444	△213,275
前受金の増減額(△は減少)	765,466	703,268
その他	317,749	76,453
小計	5,205,698	5,415,010
利息及び配当金の受取額	4,877	3,999
利息の支払額	△27,537	△22,390
法人税等の支払額	△53,093	△86,527
法人税等の還付額	18,926	1,454
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,148,870	5,311,546
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	—
有形固定資産の取得による支出	△146,653	△178,688
無形固定資産の取得による支出	△9,651	△9,180
投資有価証券の取得による支出	△10,719	△5,000
投資有価証券の売却による収入	10,753	—
関係会社出資金の払込による支出	—	△56,628
貸付けによる支出	△6,000	△27,265
貸付金の回収による収入	10,992	2,697
その他	△22,588	△20,659
投資活動によるキャッシュ・フロー	△193,867	△294,723
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,900,000	△2,900,000
長期借入金の返済による支出	△116,986	△115,904
社債の償還による支出	△189,000	△189,000
自己株式の取得による支出	—	△5
配当金の支払額	△69,945	△88,661
その他の支出	△1,597	△3,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,277,528	△3,297,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	204	1,060
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,677,679	1,720,703
現金及び現金同等物の期首残高	661,080	813,792
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,338,759	2,534,496

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境コン サルタン ト事業	建設コン サルタン ト事業	情報システ ム事業	不動産 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,949,040	3,192,453	232,333	55,095	10,428,923	—	10,428,923
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,073	5,320	—	29,634	43,027	△43,027	—
計	6,957,113	3,197,773	232,333	84,730	10,471,950	△43,027	10,428,923
セグメント利益	997,130	536,325	17,290	41,890	1,592,636	266	1,592,903

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境コン サルタン ト事業	建設コン サルタン ト事業	情報システ ム事業	不動産 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,225,965	3,525,568	279,245	63,835	11,094,615	—	11,094,615
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,769	—	—	29,634	32,403	△32,403	—
計	7,228,734	3,525,568	279,245	93,469	11,127,019	△32,403	11,094,615
セグメント利益	955,782	888,188	37,613	55,960	1,937,544	30	1,937,575

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。